

<b>単元名・教材名</b>	家族やふるさとを思う心をえがいた本を読もう 「世界一美しいぼくの村」 東京書籍 国語 4 年下
<b>単元のねらい</b>	○家族やふるさとを思う心を描いた本を読み、興味を持ってほかの本も読もうとする。 (関心・意欲・態度)
	○家族やふるさとを思う心をえがいた文章や本を場面の移り変わりや家族やふるさとを思う人物の気持ちに気をつけて読み、心に残ったところを伝え合い、それぞれの感じ方の違いに気付くことができる。 (読む) (1) ウ、オ カ
	○考えたことや思ったことを表す言葉に着目することができる。 (伝国) (1) イ (ア)

**本単元における言語活動**

- ・好きな本を取り上げ、その内容や心に残ったことをメモ (①本の概要②紹介したい理由③本の内容 ④心に残ったところや言葉・文) に書いて紹介し合う読書発表会をする。

**指導計画・評価規準**

段階	時間	目標	主な学習活動	具体的な書く活動	評価規準 (評価方法)
見通す	1	・読書発表会のイメージを持つことができる。 ・「世界一美しい村」を全文通読して感想を発表し合い、学習の見通しを持つことができる。	・教師や図書ボランティアによる「家族・ふるさと」をテーマとした本の紹介を聞き、読書発表会のイメージを持つ。 ・並行読書をして、読書発表会をすることを知る。 ・初発の感想を持ち、学習計画を教師とともに立てる。	・読みの視点にそって初発の感想を書く。	【関意態】(発言・行動観察) 物語に興味をもって読書し、読み広げや読書発表会などのこれからの活動に意欲をもって取り組もうとしている。
	2				
深める	3	・ヤモの人物像とあらすじをとらえることができる。	・物語の設定とヤモの人物像をとらえる。 ・場面の変化の大体をとらえ、あらすじをまとめる。	・ヤモの人物紹介を書く。 ・あらすじをまとめる。	【読】(ノート・発言・シート) ヤモの人物紹介や場面の变化の大体について叙述をもとに読んでいる。
	4	・ヤモが家族を思う気持ちを叙述をもとに想像して読むことができる。	・ヤモが家族のことをどう思っているかを叙述をもとに考える。 ・ヤモの家族に対する思いについて話し合う。	・根拠を明確にして、ヤモの家族に対する思いを考えて書く。	【読】(ノート・発言・シート) 家族を思う気持ちを、行動や会話などの叙述をもとに想像して読んでいる。 【言】(ノート・発言) 心情を表す言葉を見つけている。
	5 (本時)	・ヤモがふるさとを思う気持ちを叙述をもとに想像して読むことができる。	・ヤモがふるさとに対する思いについて考える。 ・ヤモのふるさとに対する思いを話し合った後、紹介メモに書く。	・根拠を明確にして、ヤモのふるさとに対する思いを考えて書く。	【読】(ノート・発言・シート) ヤモのふるさとを思う気持ちを、行動や会話などの叙述をもとに、想像して読んでいる。
	6	・心に残ったところや言葉・文を見つけることができる。	・物語の中で、心に残ったところや言葉・文を、心に残ったわけを明らかにしてまとめる。	・心に残ったところや言葉・文を書き抜く。	【読】(ノート・発言・シート) 心に残ったところや言葉・文を考え、その理由を明らかにして読んでいる。
	7	・「世界一美しいぼくの村」を紹介するメモを書いて発表し合う。	・紹介メモをまとめる。 ・メモをもとに、ミニ読書発表会をする。	・紹介する観点にそって、メモを書き加え、完成させる。	【読】(ノート・発言・シート) 紹介メモをもとに、心に残ったことを伝え合い、それぞれの感じ方の違いに気付いている。
まとめ	8	・読書発表会を行うために、本を選んで読み、紹介メモを書くことができる。	・並行読書してきたものの中から、紹介したい本を選んで再度読む。 ・紹介メモを書き、それを使って紹介する練習をする。	・選んだ物語の紹介メモ (①本の概要②紹介したい理由③本の内容 ④心に残ったところや言葉・文) を書く。	【読】(ノート) 紹介メモに書くために、必要なことを重点にして、紹介したい作品を読んでいる。
	9				
	10	・本を読んだ感想を交流し、それぞれの感じ方の違いや良さに気づくことができる。	・読書発表会をする。 ・友だちの読書紹介を聞き、読みたいと思った本を読んでみる。	・友達の読書紹介を聞いて、感想を書く。	【関意態】(発言・行動観察) 本を読んで、心に残ったところを伝え合い、それぞれの感じ方の違いに気付いている。
	11				

**本時の指導・・・目標** ヤモのふるさとを思う気持ちを、叙述をもとに想像して読むことができる。

展 開	
段階	学 習 活 動
つかむ (5分)	<p>1 前時想起</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ヤモの家族を思う気持ちを想起する。</li> </ul> <p>2 課題把握</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>ヤモは、ふるさとをどのように思っているのだろう。</p> </div>
深める (30分)	<p>3 学習の見通し</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・課題を解決するために見通しを立てる。</li> </ul> <p>4 一人学び</p> <p>① ヤモは、ふるさとをどのように思っているか。</p> <p>ア バグマンは世界一美しい村で、好き(愛している)</p> <p>イ じまん(ほこり)に思っている</p> <p>ウ なつかしいと思っている</p> <p>エ 大切に思っている</p> <p>オ 大切な家族の住む大事なところだと思っている</p> <p>② その理由や根拠を書く。</p> <p>ア 「バグマンはいいな。世界一美しいぼくの村」と言っていたから</p> <p>イ おじさんが「バグマンのさくらんぼは世界一だ。」と言っていたから</p> <p>ウ 「たった一日・・・なつかしいにおいがします。」と書いているから</p> <p>エ 「最後に残ったさくらんぼを大切に食べると・・・」と書いているから</p> <p>オ バグマンには家があって、ヤモは家族のことを大切に思っていたから。</p> <p>5 全体交流</p> <p>① ヤモのふるさとへの思いについて</p> <p>② 理由・根拠</p>
まとめる (10分)	<p>6 各自のまとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全体交流を通して分かったことや学んだことを生かして本時課題のまとめを紹介メモに一人ずつ書く。</li> </ul> <p>7 まとめの交流</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分のまとめの発表をする。</li> <li>・全体のまとめをする。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>(例 ヤモは、ふるさとを大切な家族が住み、世界一美しいじまんのできるところと思っている。</p> </div> <p>8 振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の読み方について自己評価する。</li> <li>・本時の学習を通して分かったことを発表する。</li> </ul> <p>9 次時予告</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・心に残ったところや言葉・文を見つけて紹介メモに書くことを知る。</li> </ul>

指導方法や留意点 (○教師の働きかけ ■書く活動 ◇評価)

○父さんや兄さんへの思いを確認する。

○本時の課題を確かめ、読書紹介メモ中の「どんな心がえがかれているか」についてまとめる学習であることを確認する。

○見通しを持って、一人学びができるようにさせる。

① ヤモのふるさとへの思いを考え、書く。

② どうしてそう思ったか理由・根拠を書く。

○ヤモのバグマンに対する気持ちの表れている文や語句に注意しながら読ませる。

■ヤモの心情を表す言葉にサイドラインを引く。

■理由や根拠を明確にして、ヤモのふるさとに対する思いを書く。

○町と村での出来事とそのときのヤモの気持ちを関連付けて考えさせる。

○どうしてそう思うのかを、叙述やこれまでの学習内容を根拠や理由として書くようにさせる。

**◇具体的評価規準（読む能力）**

- ・ヤモのふるさとを思う気持ち（愛している・じまんに思う・なつかしい・大切なところ・大切な家族の住む大事なところ等）を行動や会話などの叙述をもとに想像して読んでいる。

**支援の手立て**

- ・「バグマン・・・」と書かれている文に着目させ、ヤモがバグマンをどう思ったのかを考えさせる。

○友達の見解や根拠が、自分と似ているか、違うか等に気をつけながら聞くようにさせる。

○「なつかしいにおい」という言葉を押さえ、自分の体験やどんなときになつかしいと思ったかなどを想起させる。

○「世界一」と「美しい」と「ぼくの」ということばの意味について確かめる。

■ 学習課題について、本時の学習をもとに紹介メモにまとめる。

○一人一人の感じ方やとらえ方の違いに気づかせ、自分と友だちの読みの似ているところと違うところを比べることで、読みを深めさせる。

○ヤモのふるさとを思う気持ちについて、理由や根拠を明らかにして考えられていけばよいことを伝える。

○家庭学習音読で、心に残ったところや言葉・文について考えながら読んでくることを伝える。